

ToRSV イムノストリップキット

ToRSV ImmunoStrip® Test
トマト輪点ウイルス検出用
コード番号: ISK22001/0025

キット内容

キット内容	入り数
	ISK22001/0025
ImmunoStrip® (免疫試験紙)	25 本
SEB1 試料抽出用バッグ	25 袋
取扱説明書	1 部

・イムノストリップのみを別個に購入された場合は、試料抽出用バッグは入っていません。

キットの使用目的

ToRSV(トマト輪点ウイルス)イムノストリップキットは、植物から病原菌の存在を迅速にスクリーニングするためのキットです。イムノストリップキットには、特別な機器や技術は必要といたしません。結果は数分で得られるため、野外やグリーンハウスでのご使用に適しています。このイムノストリップでは、葉に対して SEB1 試料抽出バッファを使用してください。これ以外の試料用バッファは使用しないでください。

用意するもの

- ・ハサミ、ナイフまたはかみそりの刃
- ・SEB1 試料抽出バッファ
- ・試料抽出用資材 (Agdia 社の試料抽出用バッグをお勧めします)
- ・サンプルバッグ立て (バッグの液がこぼれないように真っ直ぐ立てるためのハガキ立てのような物)

保管方法

試験紙と緩衝液は必ず冷蔵保存 (4℃程度) して下さい。試験紙は冷蔵保存の場合でも常に乾燥剤入りの容器に入れ、必ずしっかりと栓をして保管して下さい。

検定を行なう際には、試験紙入りの容器と必要数の SEB1 入りサンプルバッグを 30~60 分前に冷蔵庫から取り出して室温に放置し、20℃以上に暖めてからご使用下さい。

サンプルの調製

- ① サンプルの採取**
2.5cm 角のサンプルを採取します。サンプルは病徴を現している部分から採取します。サンプル袋には、バッファーが 3mL 入っていますので試料量は 1/20 の約 0.15g 必要です。

注意：検定前には必ずよく手を洗い、ハサミなどの消毒を行なって下さい。また、異なる株のサンプルを次々に切り取る時は、サンプルごとに刃物を消毒用アルコール等に漬けて消毒するか、消毒済みの別の刃物を使用して下さい。

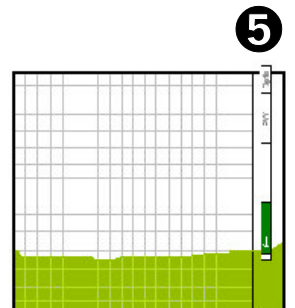
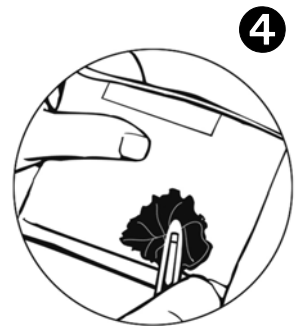
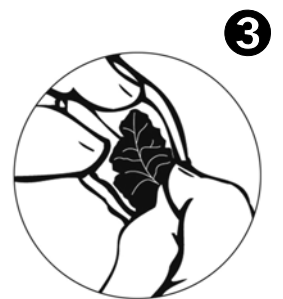
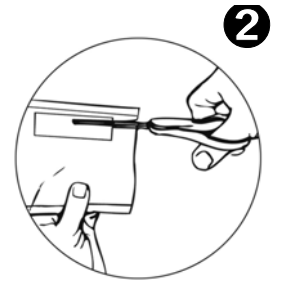
- ②** 緩衝液をこぼさないように注意しながら、メッシュ内張りサンプル袋の上部（ラベルの上あたり）を点線に沿ってハサミで切り取って下さい。SEB1 バッファーがキットに付属しています。

- ③** 採取したサンプルを、袋の内張りメッシュの間にピンセットで緩衝液に浸かるまで押し込んで下さい。

- ④** 緩衝液がこぼれないように注意しながら、袋の外側からサンプルの薄片をペンの尻やすり潰し棒などでこすり付けて磨碎します。サンプルの種類によりますが、抽出液が薄茶色または淡緑色に着色するまで汁液を抽出して下さい。試験紙を入れる前に 3 分間静置します。

試験紙の使い方

- ⑤** サンプル抽出液の準備ができたなら、試験紙を容器から取り出します。この際、試験紙の上下（上は社名の agdia の記載がある白い部分、下は Sample の文字と矢印が書いてある緑色の部分）に注意し、必ず上部をつまみ、下部から図⑤の通りに、袋の右端のメッシュの外側に挿入し、その先端がサンプル袋内の抽出液に 5mm ほど浸漬した状態で 30 分間静置してください。陽性の場合には 5 分ほどで線が見え始めます。ウイルスのタイターが低い試料では線が出るのに 30 分を要します、抽出液が吸い上がるのを待ちます。サンプル袋は倒れないように、ホルダーなどに立てておきます。



結果の判定

試験紙を抽出液に浸漬すると、しばらくして、陽性反応では赤色または紫色の線が2本、陰性反応では1本現れます（下図参照）。

2本の線が現れた場合、上方の線は対照線（コントロール線）で、検定が正しく行われたことを示します。下方の線は陽性反応を表す線で、ウイルスが検出されたことを示します。

上の線（対照線）が1本のみ現れた場合は、サンプルが陰性であったことを示します。

対照線は検定試験が正常に進行したことを示すもので、もし、下の線（陽性線）のみ現れた場合や、線が1本も現れない場合は、その検定は何らかの原因で無効ということになります。

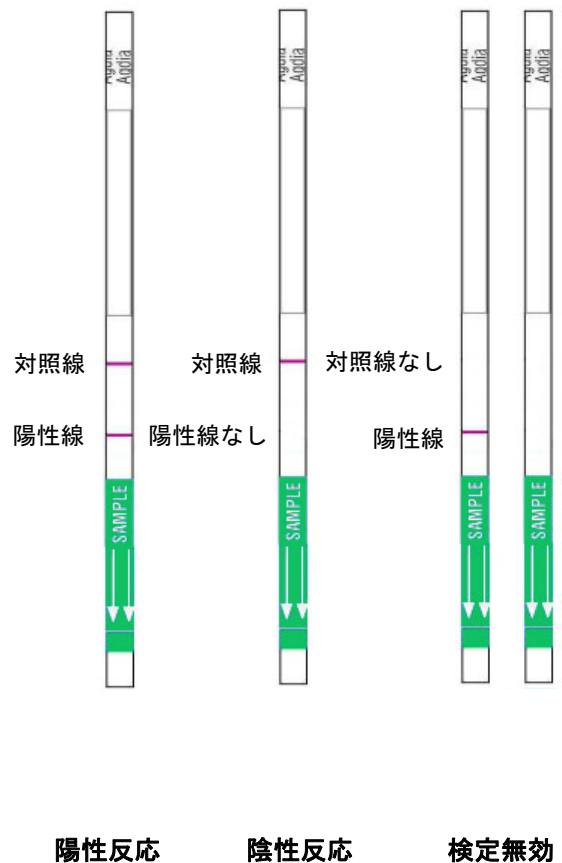
陽性反応は遅くとも30分以内に現れるので、ここで試験紙を抽出液から抜き取り、試験を終了とします。

検定結果を正しく判断するイメージとして、右のイラストをご参照ください。必要に応じ、テストライン（陽性線）と対照線の位置を合わせて、判定の目安としてください。

注意：反応の現れた試験紙を後日のために保存したい場合は、サンプルと書いてある青色の部分をはさみで切り捨て、ペーパータオルなどの間に挟んで余分な水分を吸収したのち、乾いた状態で保存します。乾燥が不十分な場合や長期に保存する場合は、試験結果が変質することもありますので、写真撮影して保存することをお勧めします。

反応の程度

反応の程度は、サンプルのウイルス量に応じて高まります。このテストでの陰性結果は、ウイルスが全く存在しないか、存在してもそのウイルス量はきわめて微量であることを意味します。また、弱い発色であっても、陽性線の発色が認められた場合は、ウイルスの存在を意味します



安全性

イムノストリップと試料抽出用バッファーは危害を及ぼしません。

トラブルシューティング

Q 対照線が出ません。何が原因でしょうか？

A1 試験紙の浸漬深度

対照線が出ないほとんどの原因は、試験紙の先端部を 5mm 以上サンプル抽出液に浸漬することによるものです。この結果は無効なので再試験してください。

Q 抽出液が試験紙に全くしみ込みません。または、しみ込むのが極めて遅いです。何が原因でしょうか？

A1 試料検体が多すぎる。

その抽出液を SEB1 バッファーで 10 倍希釈した液または、より少ない検体を抽出した液で再試験してください。

A2 その他

使用前にキットが室温になっていましたか。有効期限が切れていませんか。有効期限は箱に記載されております。箱に記載された有効期限 (Use by: 月/年) を過ぎた物は、正しい検定結果が出ない場合がありますので、ご使用はおやめ下さい。

Q 緑色の線（または試料の色素による線）がでた。何が原因でしょうか？

A1 試料検体が多すぎる。

その抽出液を SEB1 バッファーで 10 倍希釈した液または、より少ない検体を抽出した液で再試験してください。

A2 その他

まれには、組織の色素によって線が出る場合があります。緑色の線は陽性とする必要はありません。赤、オレンジ、紫色の果実は陽性のような線が出る場合があります。それらの試料を試験する場合は、事前にアヅマックス㈱にご相談ください。

Q 対照線または陽性線が薄い。何が原因でしょうか？

A1 有効期限が切れている。

有効期限は箱に記載されておりますのでご確認ください。箱に記載された有効期限 (Use by: 月/年) を過ぎた物は、正しい検定結果が出ない場合がありますので、ご使用はおやめ下さい。

A2 試験紙が湿っている。

試験紙が入った容器を長時間、開けっ放しにしていると、試験紙が湿って結果に悪影響を及ぼすことがあります。ご使用のたびに試験紙容器をしっかりと閉まっているかご確認ください。



さい。

A3 ウイルスタイターが低い。

病原体のタイターが低いと陽性線が薄くなることがあります。

Q 判定

A1

金色は、時間超過によるデバイスのバックフローでテストラインに非特異的にくっついたものです。試験紙部分を切り取りストリップをペーパータオルにはさみ余分の液体を除くことにより防ぐことができます。

使用上の注意

- ・本品を目や口に入れしないで下さい。また、誤飲を防ぐため、幼児の手の届かない場所で保存してください。
- ・本品の有効期限内に、当社の製造物流保管作業等の不具合により製品に欠陥が生じた場合は、新しい商品とお取替えいたします。
- ・検定結果の判断と運用は、すべてお客様ご自身の責任で行なって下さい。本品の使用によるすべての直接のおよび間接的な結果としての経済的損失や財産などあらゆる損害に対し、一切補償するものではありません。
- ・本品を廃棄する際には、衛生面、環境面に配慮し、焼却処分等を行なって下さい。



製造元：アグディア



輸入元：エア・ブラウン株式会社



販売元：アツマックス株式会社

東京営業所：〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-2-10 鉄鋼会館5F

TEL：03-6610-1090 / FAX：03-6610-1091 / E-mail：sales@azmax.co.jp